

青皇和漢神仙圖繪



特別

~5

6691



文化二乙歳

歳と

ほのろたう 沖よかたえんろそんそあ

年柄 糸川糸山とてあは

敷るるそとくも若くは子燭鞠

乙二幸平

浪義佛林

一炊菴



春興

柳  
の  
心

春の心あり

梅の心

一櫻井

龜文子

春  
去  
略

和上位玉君

春  
去  
略

春  
去  
略

春  
去  
略

春  
去  
略

春  
去  
略



歳旦

石之濱田

久佐

有幸

初々々

物々々

あゝあゝ

喜興

多々々

学々々

無々々



櫻々々

其婢答曰指上按獻  
紅銜白助哦詞允多吉  
景為人住不賞東乃會  
也是癡

白々々

生生瑞馬

ちんちん  
臧々々



青皇

南枝元唐穂又

呆くや初水

喜興 臥系福天祚

松三  
紅梅殿も日の  
ゆ〜

亀洞



歳旦

野原元桃谷  
産陽天祚

初々也あま〜

桃の元のま

喜興

善地心福又似ま〜  
元元連

喜遊



巖と  
路に徳心時希宮

そんまらわ

水山乃

初うす

喜無

流乃まら

日くし

初とく

瓢泉齋



山巖且

播州竜野

林亭

雨隣

初鶉や風乃のまら

い

初とく

三節まらわのまら

ぬ

喜無

まらわのまら  
鍬よる  
柳  
うす

歳始

歌宮崎七浦

廻廊よりあけ

初日は五の

初日を

米ハさ心福ハ代れ

と

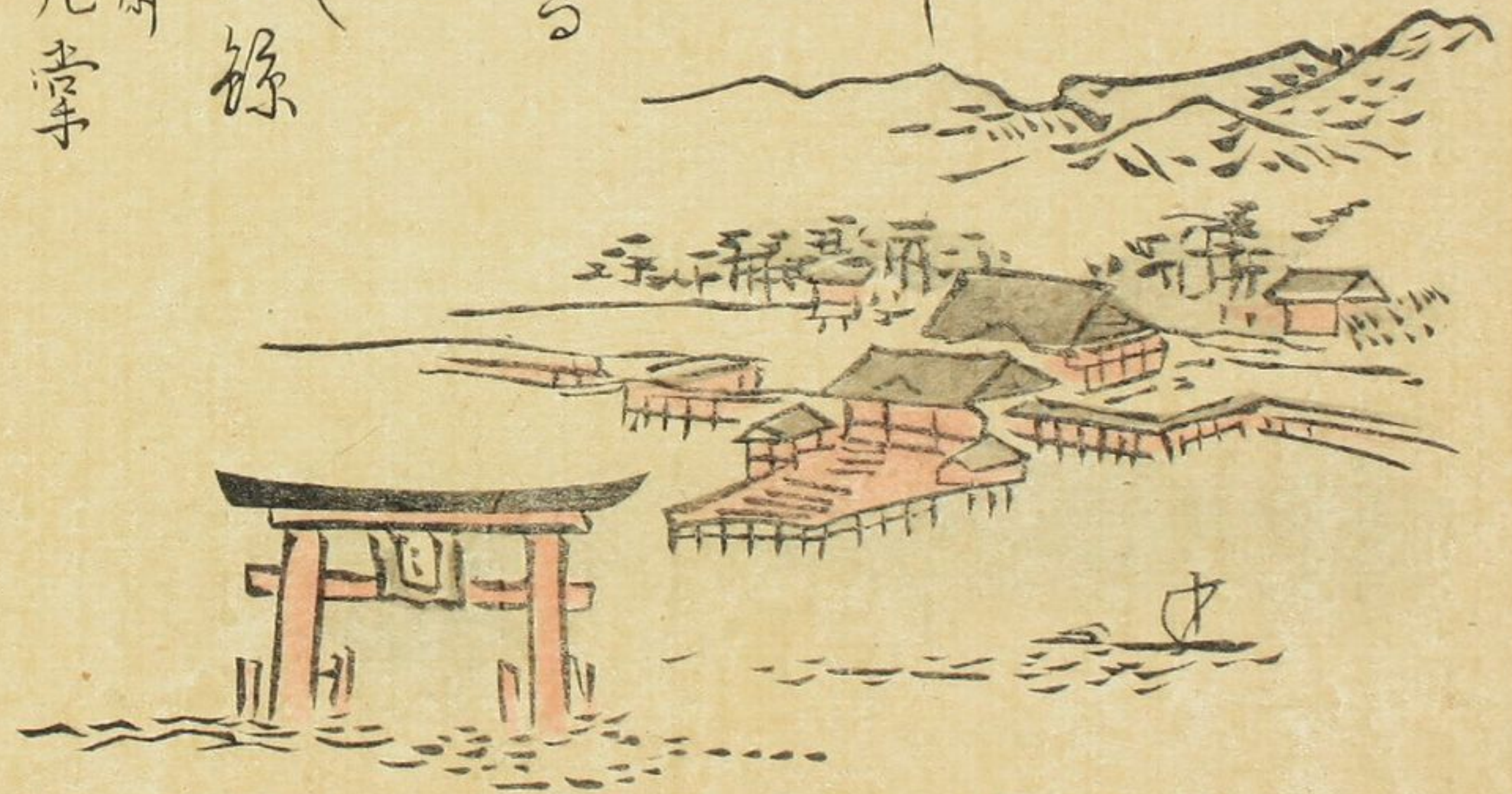
喜興

七浦もうきり

初縁

一如齋

几堂



歳旦

歌運の神

昔峠鉦  
喜郷

舟と浪

機

日の

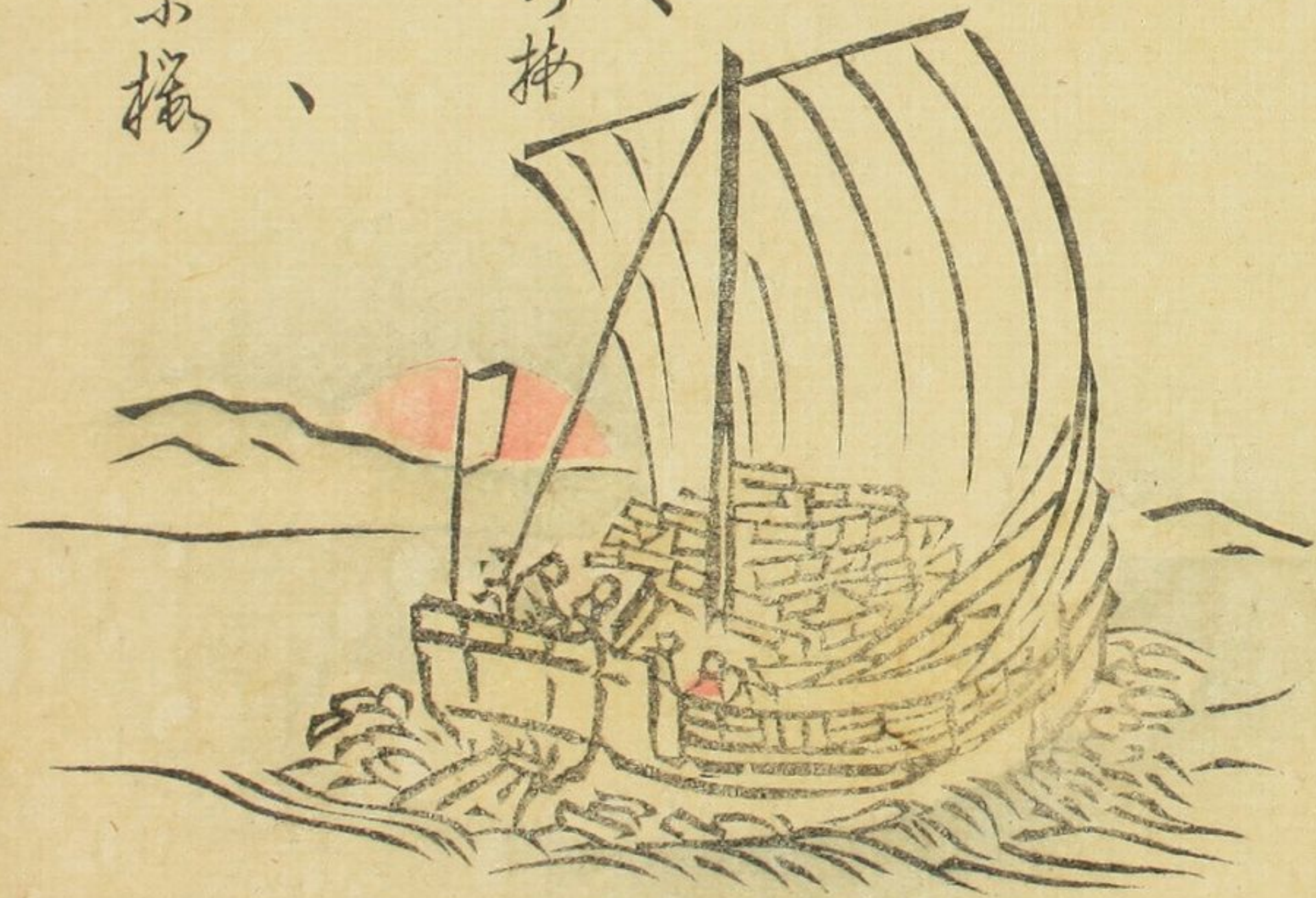
花

春もよみ年の尾  
室

喜興

日のあけ

系



歳と歌玉津嶋

元新中

浪平ら又新島の浦

世に回

とらふ事頭

知つて解つての保

春の

冊 春をよみゆく 愛をさる

一時軒

急就

歳と 金津の辺り

長をくも

自抄

とらふの徳来

まづけ 夜更のとき

春の

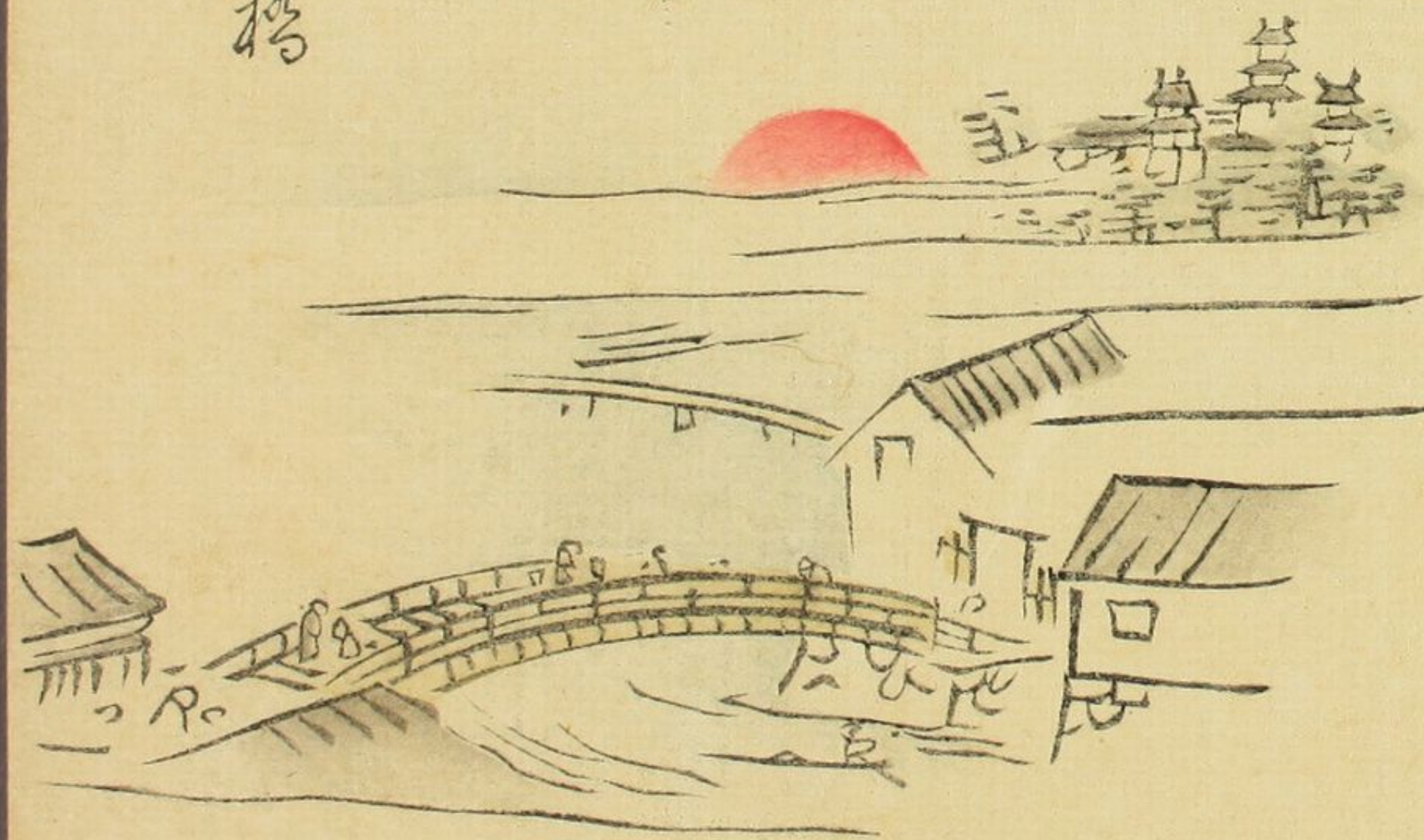
いそぐや 春のむらぬ

のこり

春の 流るの川をよみ  
よつてたをむれり

いそぐや 春の

よつてたをむれり





蒼天  
野依太三許

そら野の梅を  
所供や白をま

せしむ

昔の事ありて  
いふこと  
さうさ

伯春



歳旦

立喜喜又あれを  
倒しうもまけ

そ水又そやこころの物

歳旦

観音よりよこころ

はらうし  
社を

清初や船の中  
松の

一麗舎  
女嬌



春鳥

歌小條時頼

梅吹雪

春鳥

〜

梅情

三至



歳旦 錦三神

初日さる彦子梅の匂い

〜

喜興

梅柳 是服の

〜

〜

霞章



少雨さく

つれ乃歌を  
撰つて

常と  
小僧くあそ

初音

うま

泉  
雨柳



歳旦

野老招展

新歳や名こそ

老木の

さるに

喜真

赤梅の喜の

年日くま初音  
うま

文鳳



覆新

元旦類洋惠冥神  
家内安令消至根  
尚祝廻重屠蕪酒  
若紙福海壽山喜  
六迦羅菴

名新心

愚心智無知白打し

人々 全

歳旦

歌春日若宮八幡

若水や若乃かきん

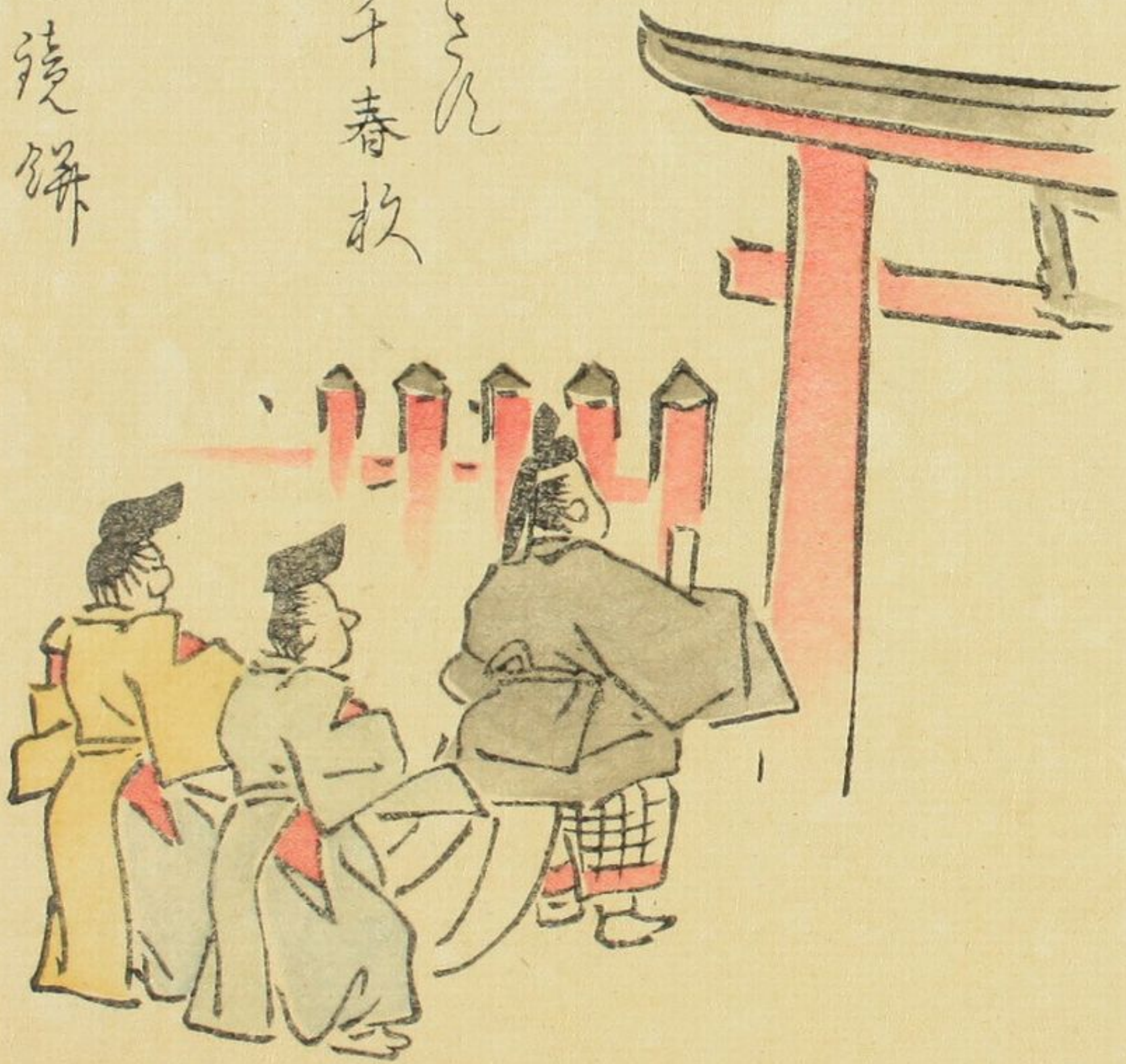
千春枚

せれは

手白くさくはそそ

守の鏡餅

獅弦



新と 歌東方朔

福喜州 抛二

九千乃

流の足

せむは

ふづけさゆふさ

かきう七とう 守夜

知友



歳旦

歌 伝言 大海新

子成

初

初日を担ぐ

和田の

せむは

浪のよき

千尋の

屋敷 男



歳旦

歌 大忌天

初め

喜も打ちの  
玉の喜

せむ

よの市の

〜のあや

除夜の  
酒

芥明



歳旦

歌 浪元水登

縁交て種

柳枝

ちつり

浪をよかけろ

神の喜

喜無

あつの日を梅も

さくら〜も

馬の牡丹



喜無

野生田明神

月夜橋  
芒草

来るる鳥乃

項々又咲く

四林の記



野 渡唐天神

野國の梅を

古き聲の御意  
跡く

野 俗言市意比須

野 松より神

あや梅朝

野 雅亭

より 浦



喜興

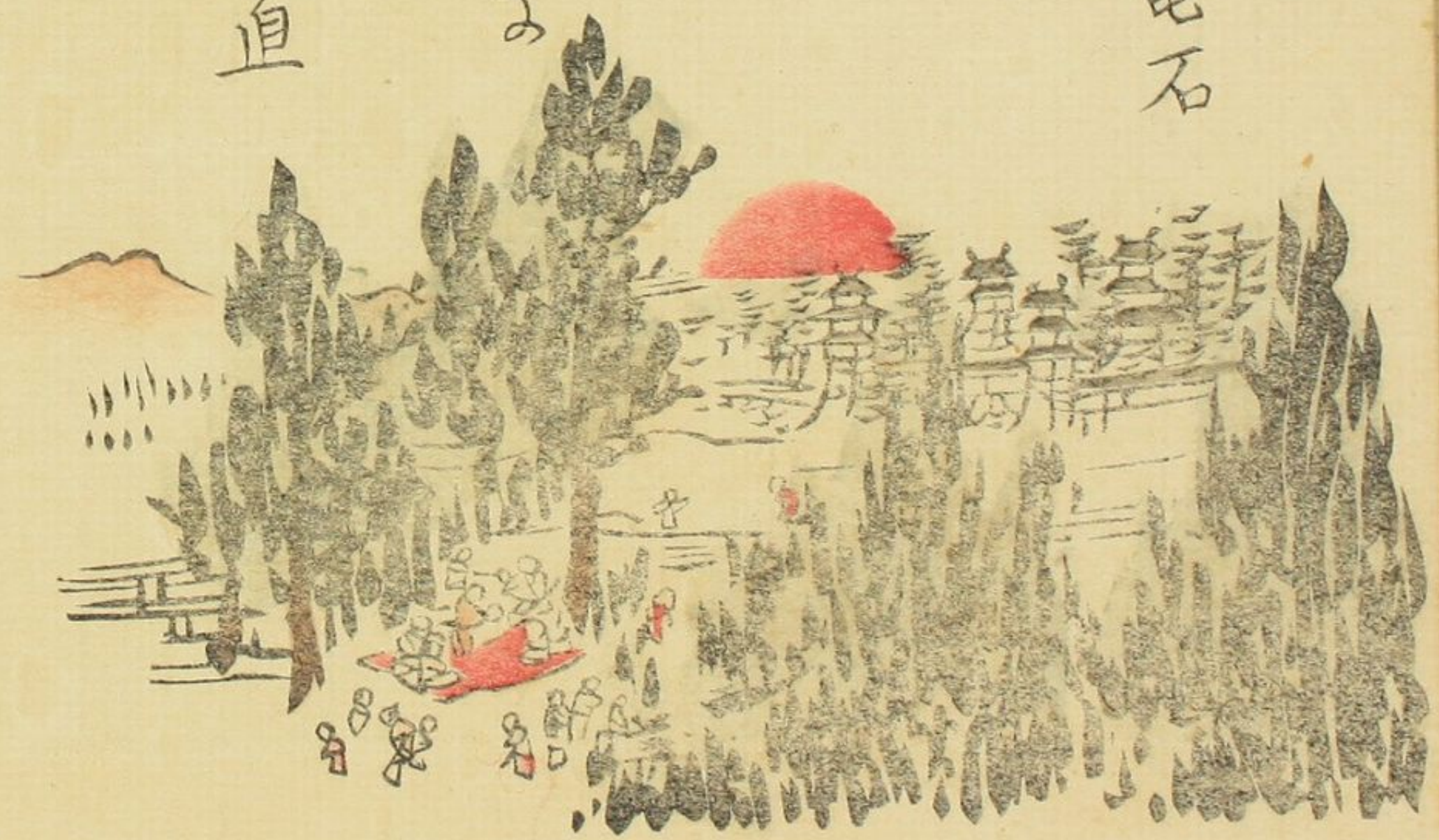
松池の秋ささる  
しんせいの秋ささる

亀石

小櫃の秋

あさるの秋  
蛙ささる

只直



歳旦

影武内宿禰

升雄

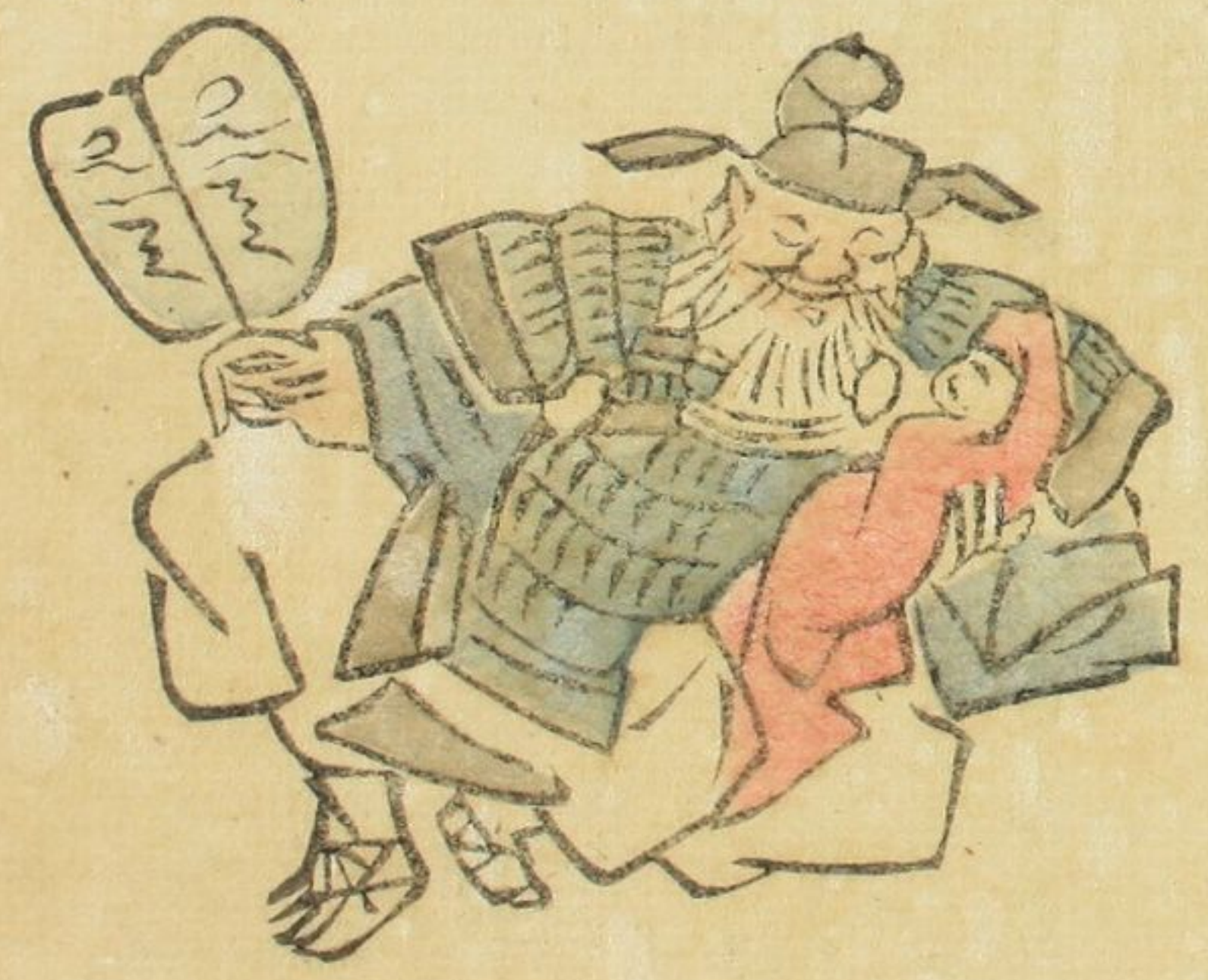
さるやさる歳の

余さるのさる

せんは

静の流

石流





歳始

〜 信神

薰十

〜 乃神を

〜 の神

年々

松丸を解く

あ〜 ね〜 の

年



三船

神農

蓬菜や

味のり

福寿糖

奥州



賀方稀

生涯又眼薬を用ひを  
又十五之餘年冬迄なり  
減瘡を治す  
細書御半眼鏡を用ひを  
奥歯不足たりと云ふ  
行方稀行方稀とも杖加  
盛りたりともおどろく

養老所  
林鹿歌

右自徳戯り行方稀

方稀 なる  
方稀 なる  
千代の喜

歳旦 歌号服社

四年君雨の定まらぬ  
けしきえのねよそわく  
そよを祝ふ

あ歳を祝ひ

これその年の初め

歳を祝ふ 歌号服社

と〜 花の八者

花の八者

か〜

凌光舎



少陽

鼠友

柳宿也

梅子

色とよ

忌の市



喜興  
路楠正成

根をふる

柳ととろろ

喜の  
水

文都  
自画



新と  
歌に去大蔵神

初をく福喜の  
叶をた  
むと

入船のよしや秋をえ  
新と  
歳をく

佳石



歳と  
歌に去は宮

ぬうは事と初日  
まことや秋の色

せんは

様とくは朋お喜や  
新と

喜興

名却せと浪元の喜を  
梅のさ

梅の巻  
其昌



芳時

是利を成ら

一筋う二つをうらむの  
翅を成

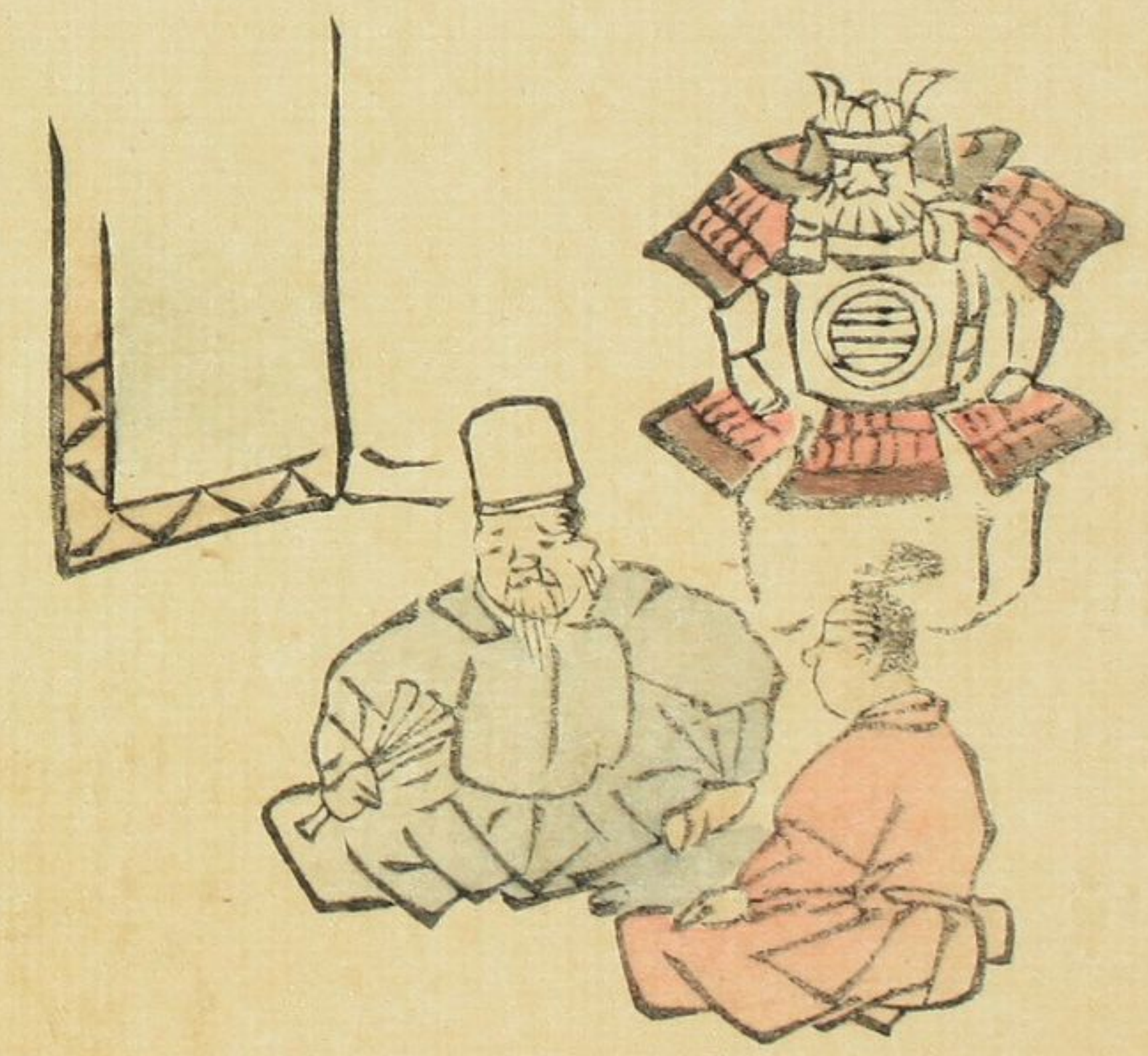
せむ

鬼のあふハ多しやまうん  
とくの年

喜典

浦の帆乃を成のうらむ  
走らるる

楚尺



和景

是志雲大社

文勢

八平らうらむ

こま居よ

かきん

えんの  
そ



殿上  
歌伊勢内之

南橋

らろろろろろろろ

きやろろろろろ

せし日

後路ろろろろ

色ろろろろろ

喜魚

梅咲やあな

まろこ火吹



梅屋まをて梅のま  
人ろろろろろろろ  
思ろろろろろろろ  
まろろろろろろろ  
ろろろろろろろ

梅ろろろ

けろろろ

みろろ

錦苞舎  
慈樂



歳旦

路乃森神社

初日乾

春日樓

中丸

ゆ〜結色乃

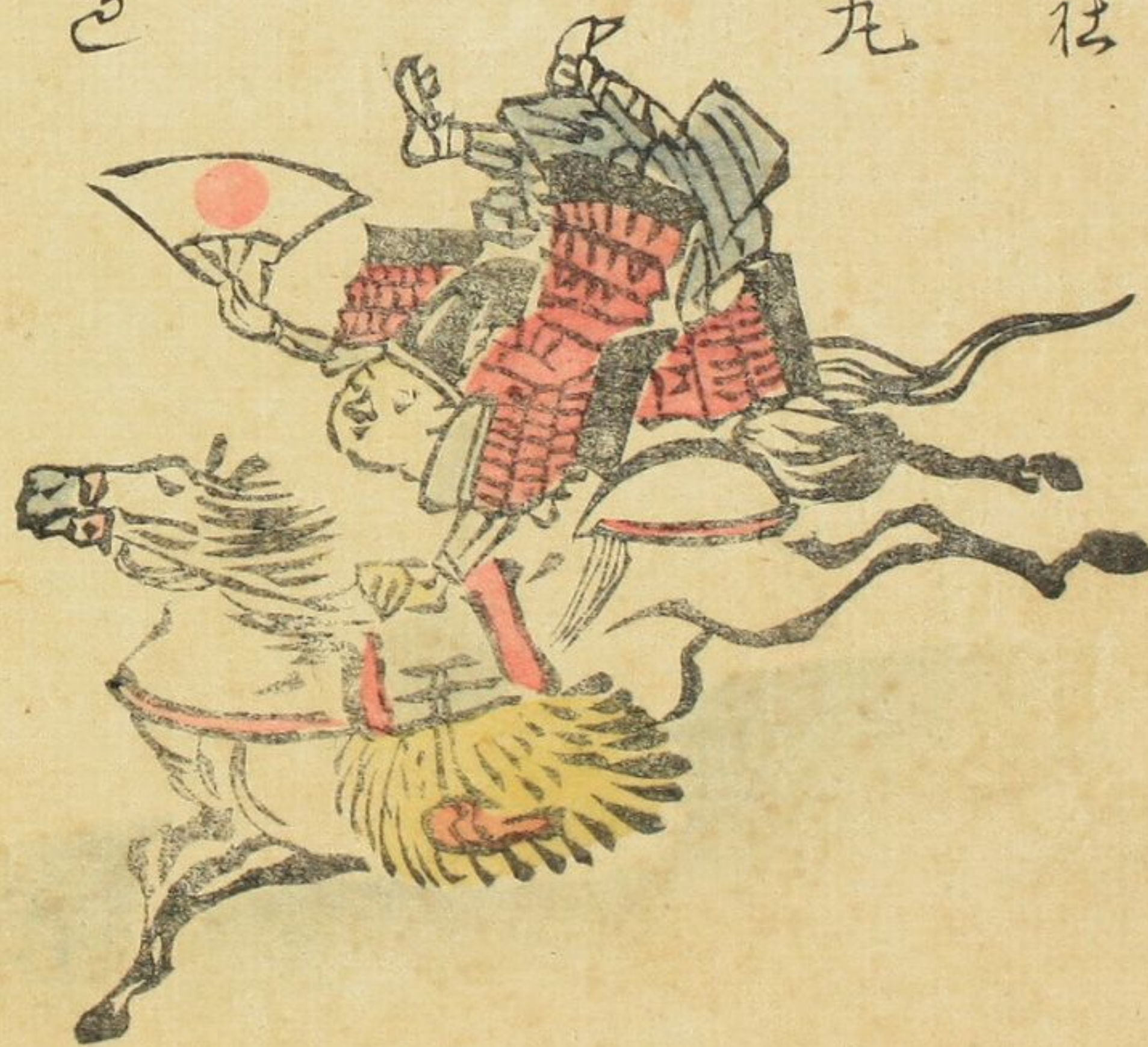
官帽

喜興

角之乾む人々

色乃

喜乃色色



喜興

二三寸

伸七

伸七

喜の

雨

江丸



喜興

喜乃日の

二里も

一里と

えり

田家菴



喜縁

桶輪ゆひの

歸る初なる

雛子の

喜

方水





歌 古く由

崑下郡奈良村

弓勢又

無軌

たれそ ちりり

辰聖田 春日社内 徴古堂

辰浪や

章早花

たれよん ちりり

千鳥足

歳止

歌 花玉指現

雨柳

みよ ちりり

ちりりの ちりり

ちりりの ちりり

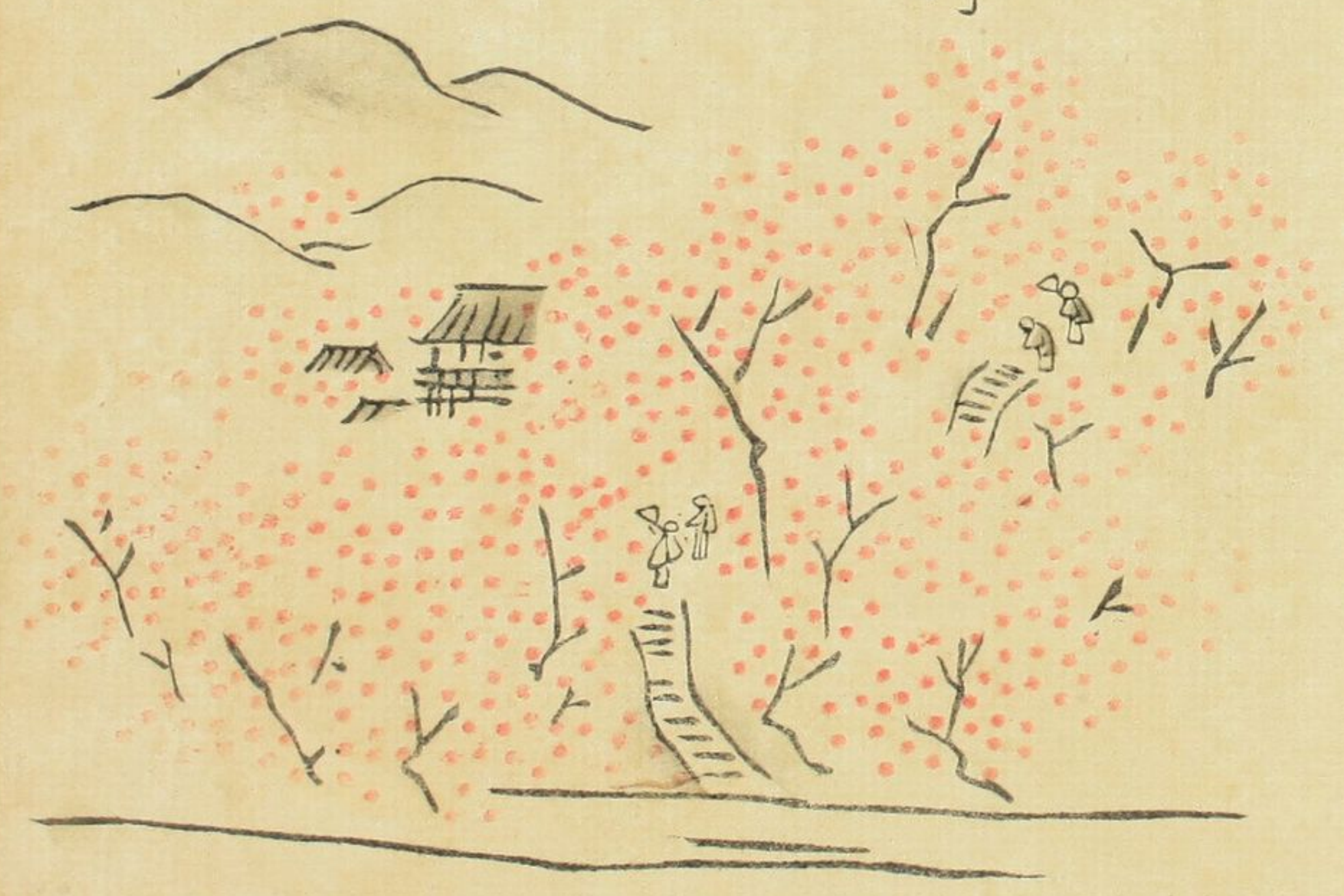
歳止

歌 行音又計

煉 ちりり

ちりり ちりり

箭塚



歳始

三つまた新年よ  
あれを

白梅堂  
は我

賞の

〜の初まの  
初と

事

三浦大浦

百六つ

〜



歳旦

野原徳社

えのや  
ねの白徳

林

七

八

九

〜

澄意



歳作

別雷神

水作

水子流川

神の教

世に

一日子

梅の

梅兮



良節

歌老老人

謝室

老なる喜作

喜老の人室

喜興

喜作

喜乃

喜作



青帝

影系福喜社

我答

初詣詣も

いのち此社

年々

影三浦八幡堂

通つ矢も

何の事も

除ねの的



歳首

始て雅波江の年を  
是へ来り必るのときを  
思ふ

雲霞廣瀬

細野

右梅

ハヤシと云ふ

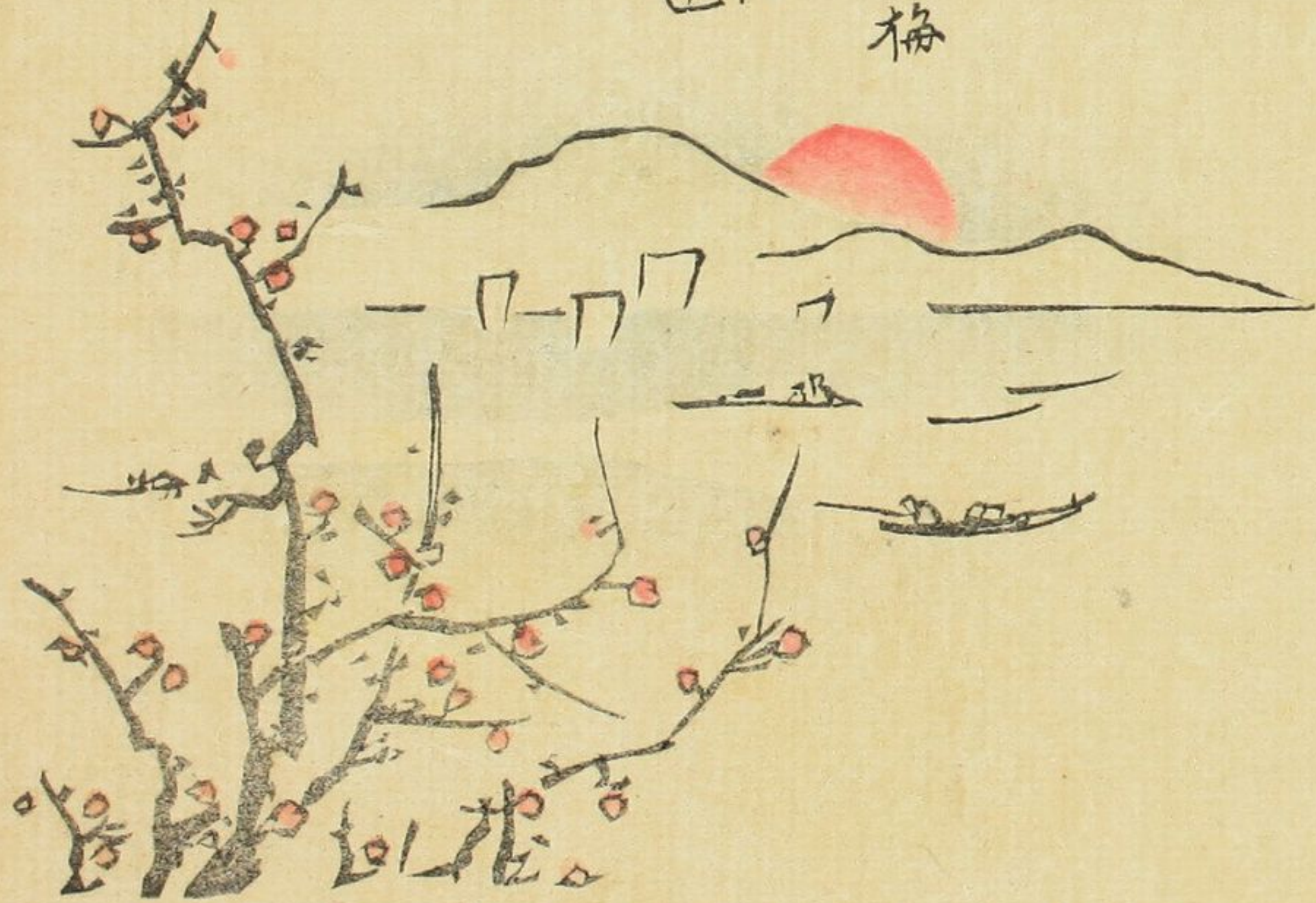
田々のくさ乃

初日の出

喜鳥

自らも一枚も

あせ梅の花



三好

初明

折る歳の

加のろ

夢

岡寛齋

朝三



歳旦

野舌傳社

佐太

七十七老毛

蝸天老人

牛翁

谷 春とりのりて

旅ハ一 神の春

喜典

浴泉廬

鳥掌

起るるの世乃春解や

喜の地

歳止

影好義山

まじり

暖くも

山石の射抜の

神穂打

佐太二番

枕流舎  
里鯨



綵葉

影信田稻荷社

荷とひとも

稲の

りあや

丸沼車

縄

阿陽

大利里

化跡



嘉節

歌多由湯仲る

佐太

巴山

源の

流

流

小船汲



嵐始

歌系礼四神

茨木

茶瀨

ふとち

神もてし

神もてし

六

喜興

六

実くハ

新又と

白羽



歳旦

吉法眼 喜吟乃 弟二和

初日乃出

落木

春笛

叩人 与 方 惠 部 心

初惠比須

日

樂只

洗濯乃

あゑあゑ

あうらうら

あゑ

うつこさ

あ乃

あゑ

あゑ

あゑ





東君

喜陽乃

海も深し

神の

まら

源本

元齋



歳旦

一以菴の探野の甲子辛酉八朔候の  
名を以て歳旦の野と云

浦も山もあのお蔭や雨の喜

如月宮初年なられと  
稲穂の雨神をめぐり  
内所

初年や軒の下も山一位

高槻

春水館

御邊

歳旦

野江屋又あつたの御作

初めは田をまゐ  
めくらの福喜あ苗

せん海

ふさふさあつた

か〜けや〜急〜

末廣師

鶴宇



喜興

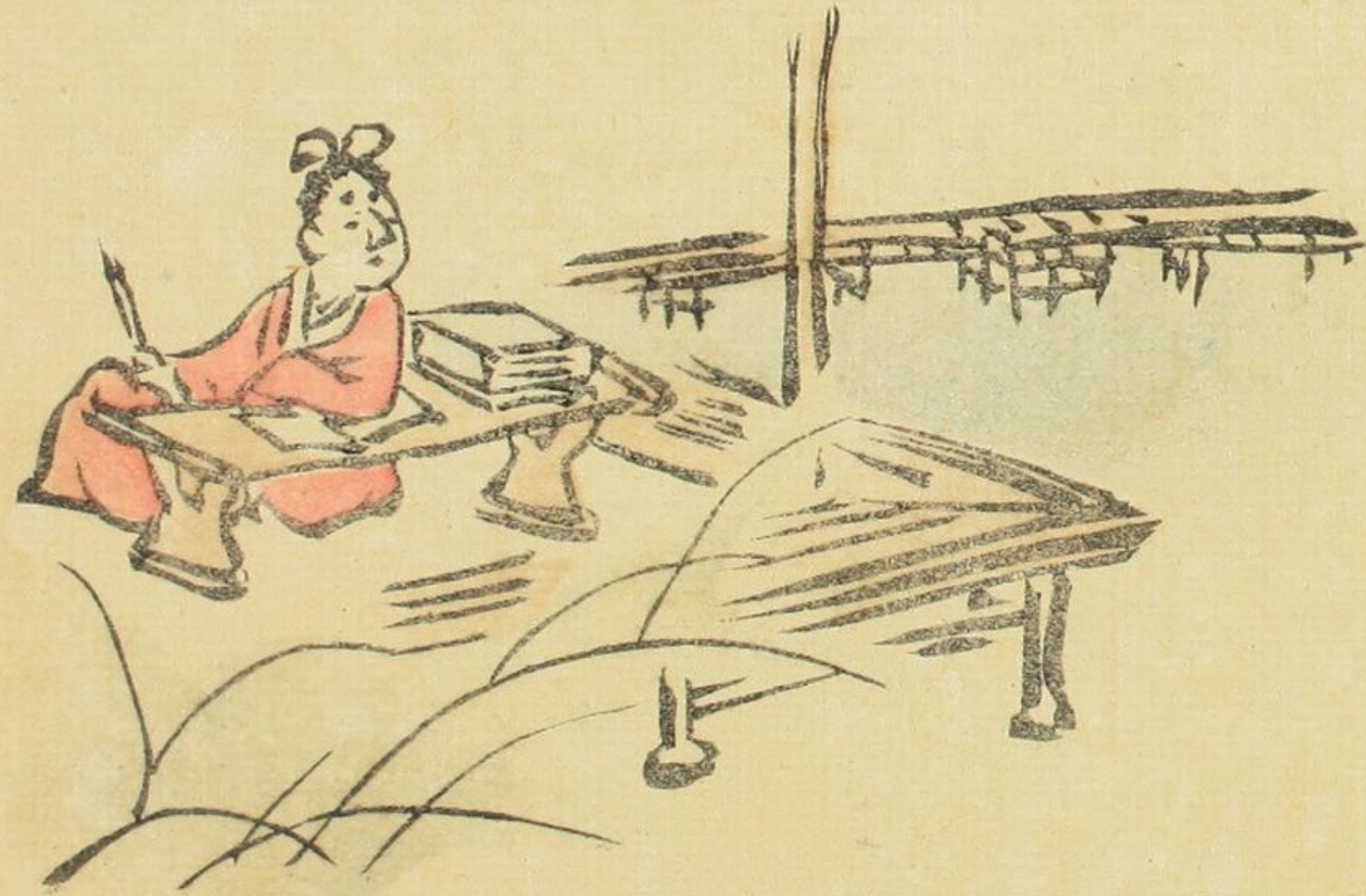
左海

楓橋

つる飯乃

た〜ろ〜

字治桂



春詠

春の光

あつらう候て

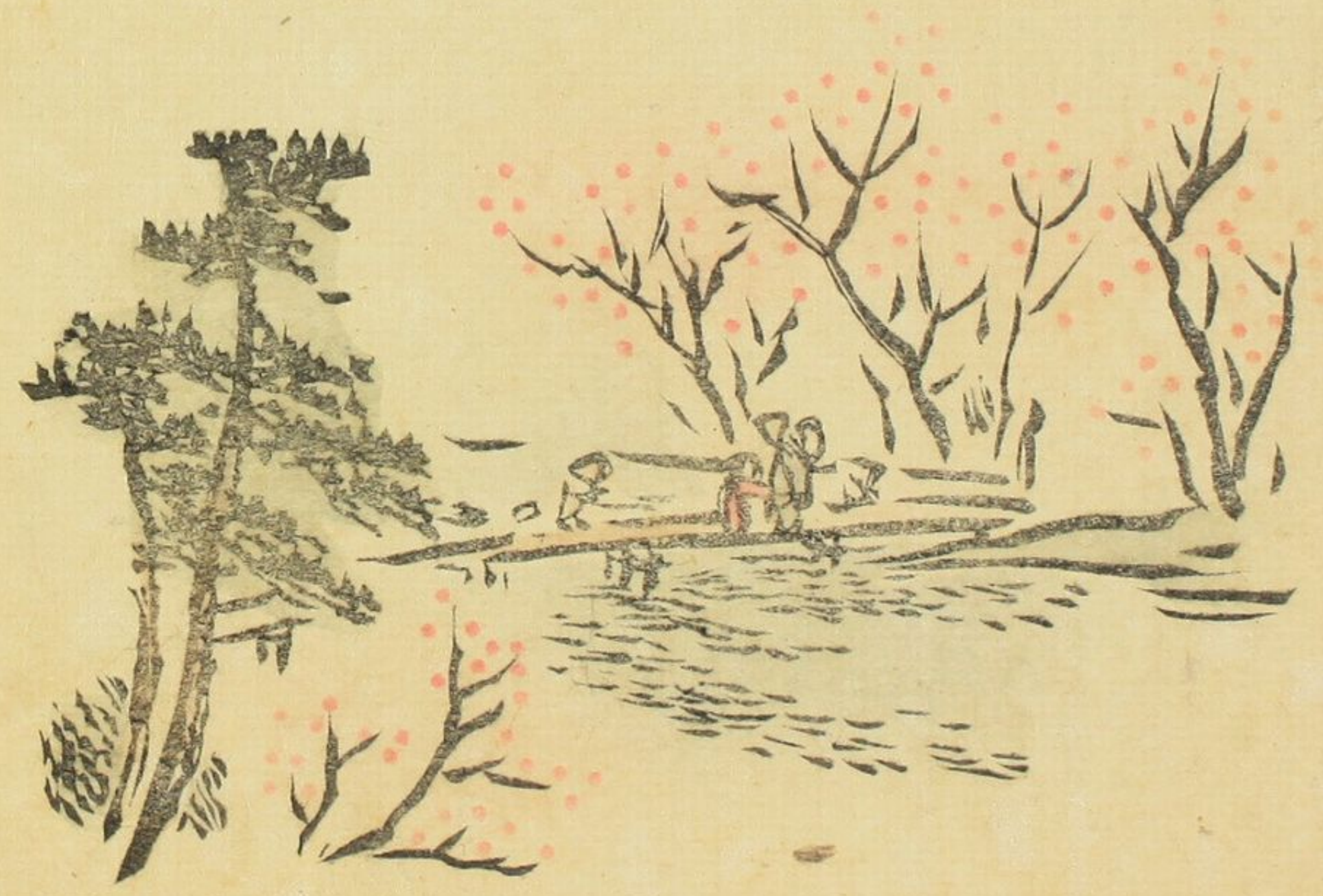
ふとたき

花子啼く

かきす

山

鳩鷺



韶景

影ハ情を却

往昔の

むらさき

や

ろと

遠及日阪  
圓之



蒼天

路長明

陽光や

車乃

石の

さく紙

水

遠及日阪

挑六



鹿景

路関羽

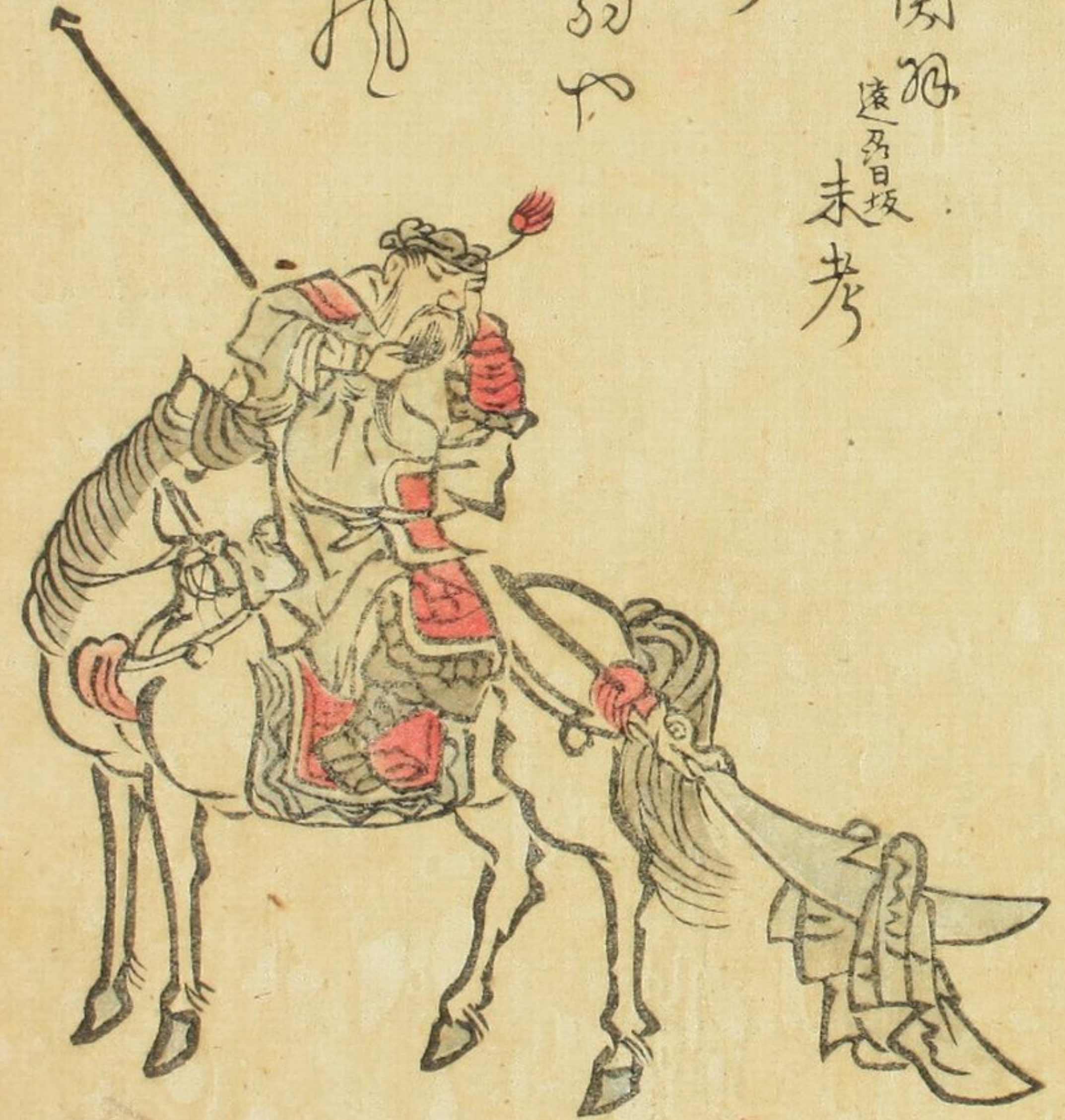
遠及日阪  
未考

関を翻と

千里の弱や

まきの

ゆ



勾芒

孔明

遠見日坂

牛夕

梅うらふ

うらふ

其電うらふ



良節

新陣平

遠州日坂

吐鳳

漕舟

舟

余ら

うらふ



陽和

影撰子

遠及日坂  
桃江

君う代乃

三尾も

松の

三葉ゆら菊



歳旦

影撰子

能事らら

上つり

三つせ

初日の出

遠及日坂

鬼卵



履新

路子

孝也

三言  
茶筵

子画宗

作

初

子



玉喜

美  
歳乃

神

松

浦の



駿府

錦羅



淑氣

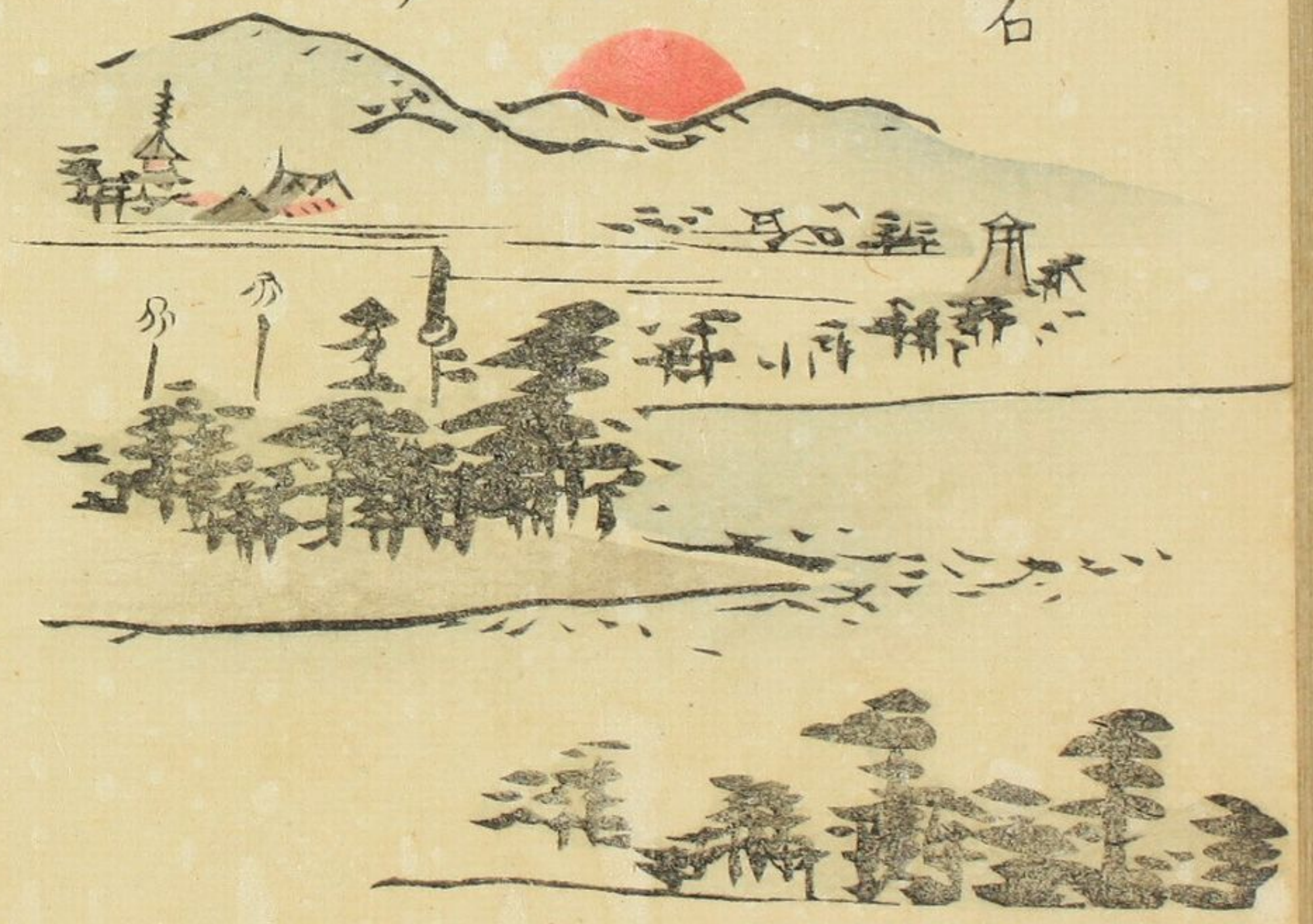
駿府  
御年石

まきまき白雲

日と近

くさく

のり  
松



大皞

駿府

廿年  
枝栄

まきまき

まきまき

あきさ

磯の

まき





多見蓋

強府

掬斗

歳礼

いと高きこと日め

はくえん

せむ

降あけ 湯き

くろく

燗のさき



青陽

彭祖

居る 獲 汲 ちや

七の白歳と

福

け



之州吉田

兔堂

拾翠

歌 源義経云

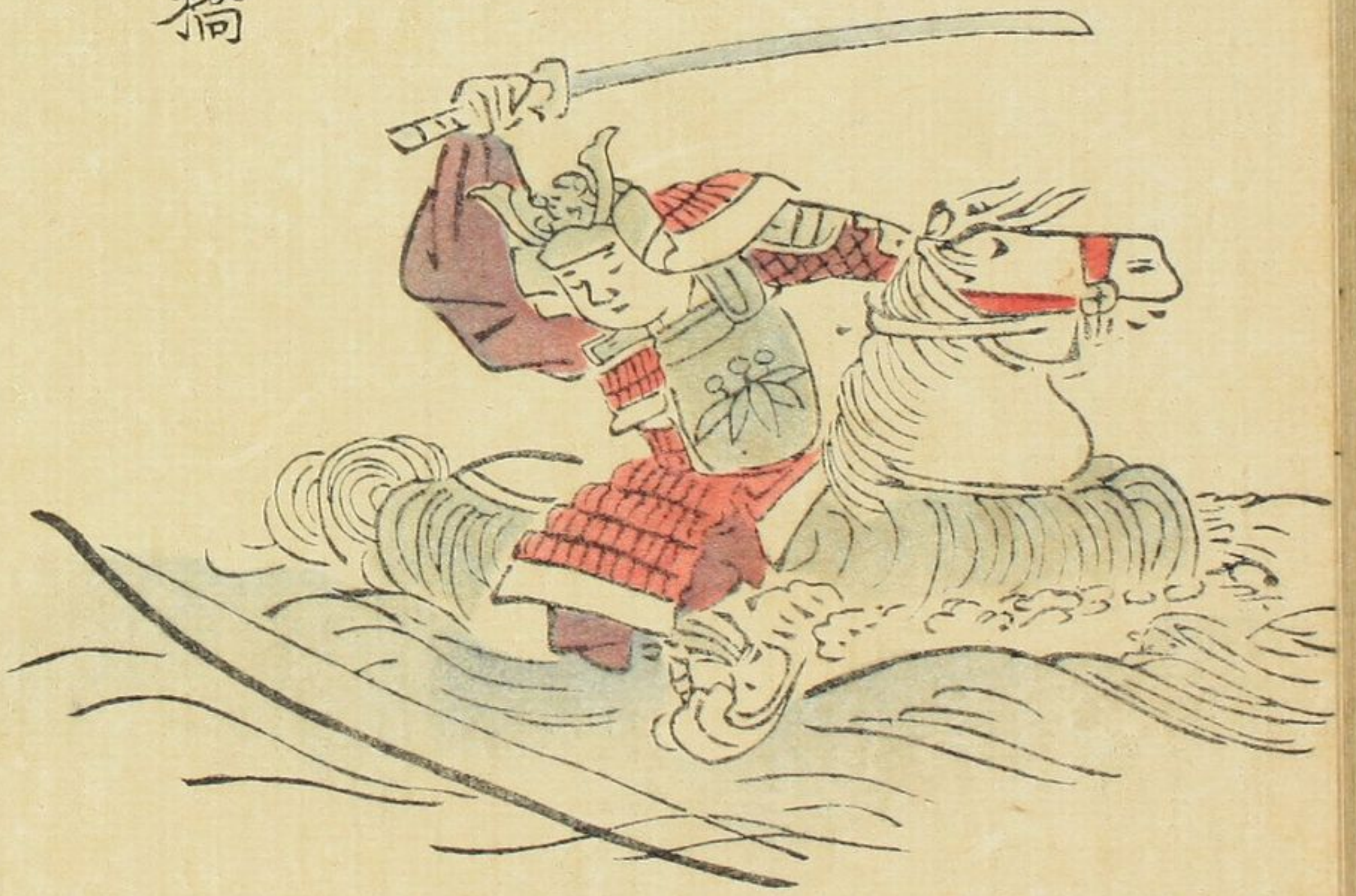
弓 張 丸

孰 七 緒 子

流

三州吉田

素橋



雲 乃 廣 嶽

兼 雲 錦

歳 旦

吸 風

野 田 村 磨

土 也 亦 也 君 也

善 之 田 村 丸

年 尾

嬰 膚 子 也 保 れ ぬ

無 事 也

守 ね

喜 興

善 之 師 也 吟 言 乃 奴 也 何 乃

善 也 是 也



歳旦

雲州廣瀨  
臨光會

桃睡

初東地をきき

門のねのき

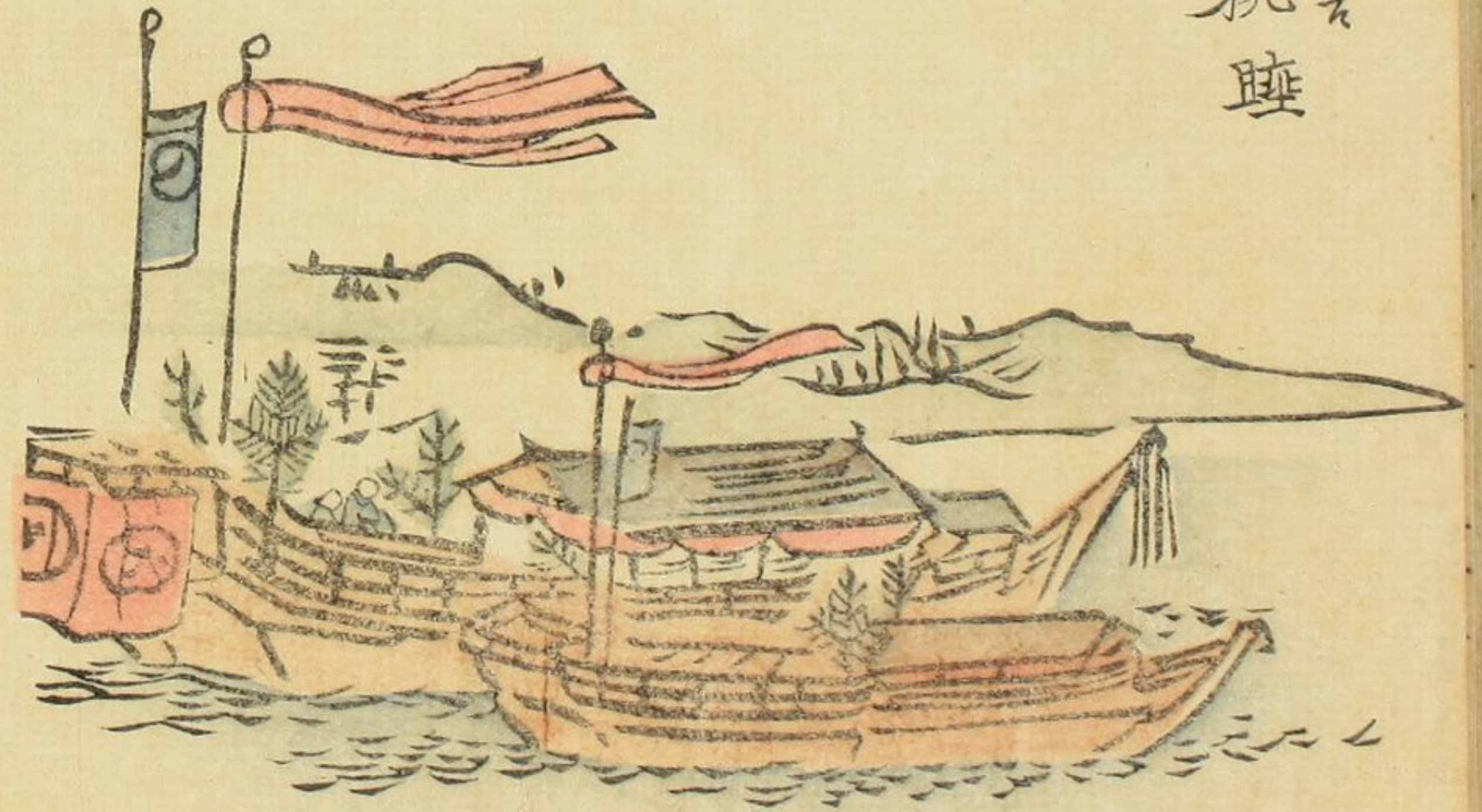
歳旦

花とらふまのあれとそ  
〜支度

喜興

山娘乃曆之せし

を解か



喜興

歌杵築

長栄さ

ハもろす

暖のそ



雲州廣瀨  
成風亭

一

歳始

野石二種現

草の葉也

りきくく

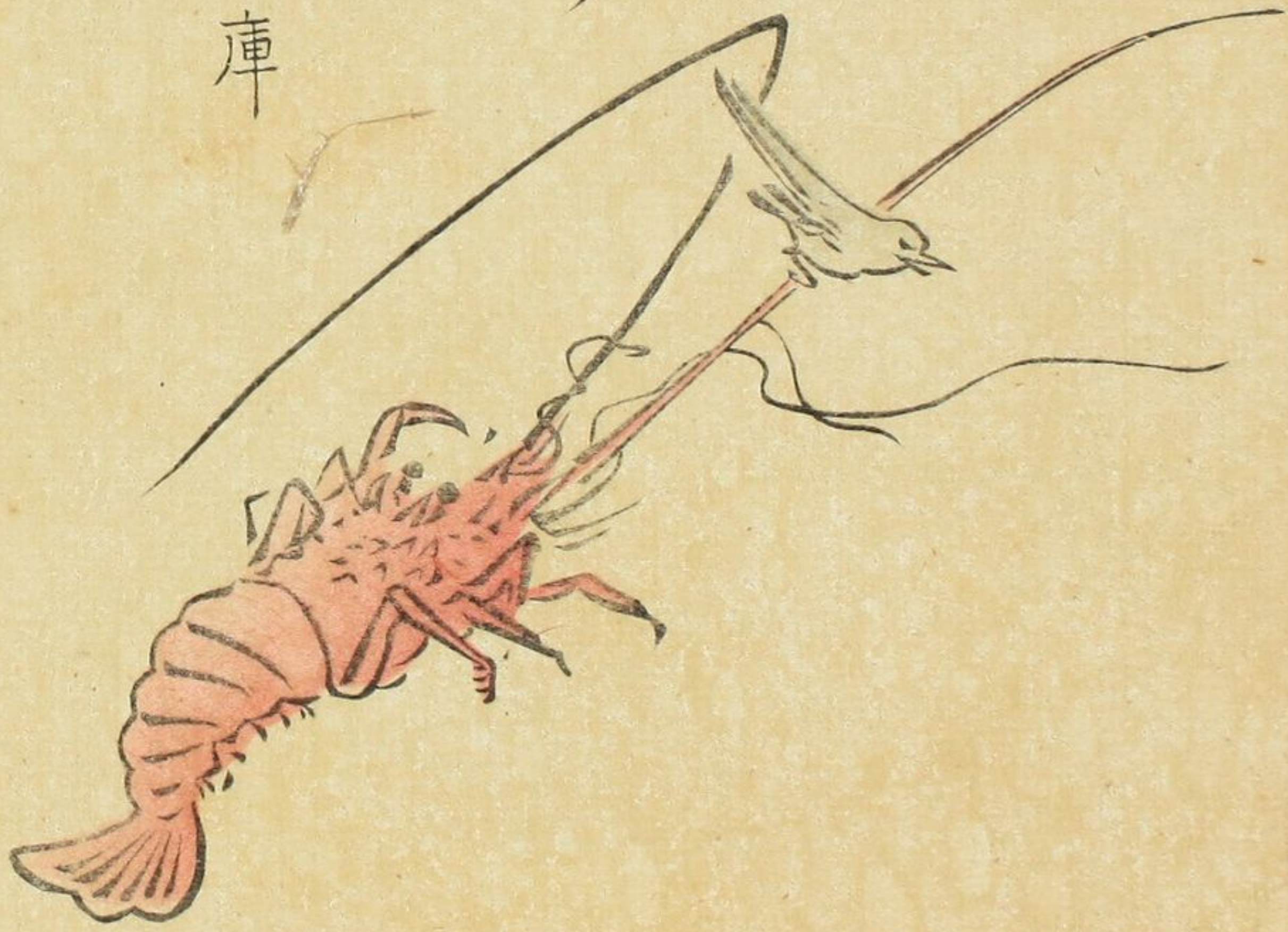
名二九

祚くろ

雲召廣瀬

蒙竹亭

連庫



歳之

あきくく

初日

水代の

口海浪

喜思

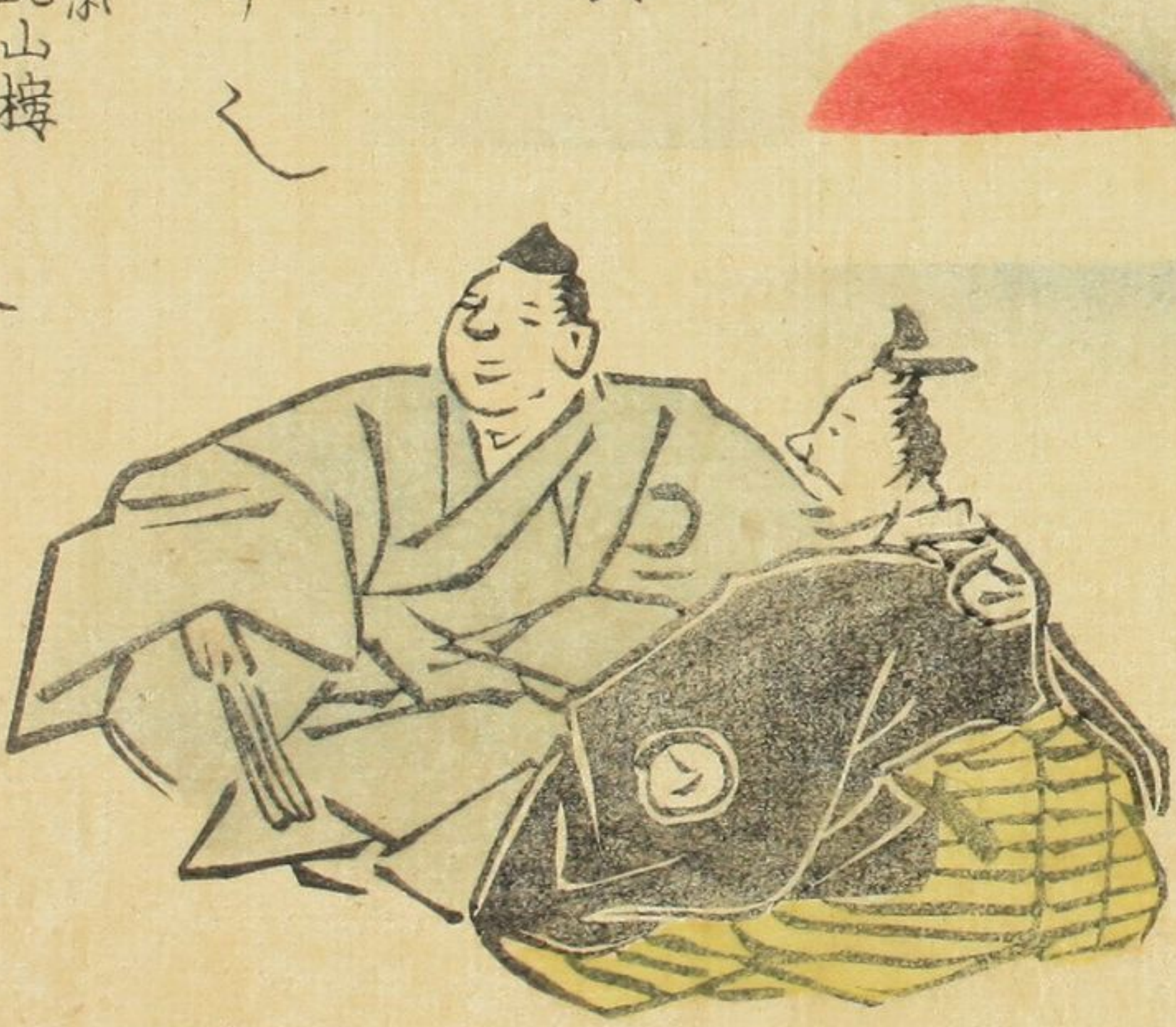
去来とたに

洲と静

雲召廣瀬

観山梅

士文



歳始

いふ祝とてあつて

唐の徳政

喜の定とてあつて

喜興

路真以地寛社

喜興  
路真以地寛社

雲乃廣瀨

一湖亭

五景



喜乃喜

雲乃廣瀨

執中菴

山々津やあ初之の  
篇序歌

年梢

いふけを思ひたり  
春の歌

喜興 路真以地寛社

いふけを思ひたり  
春の歌

歳と

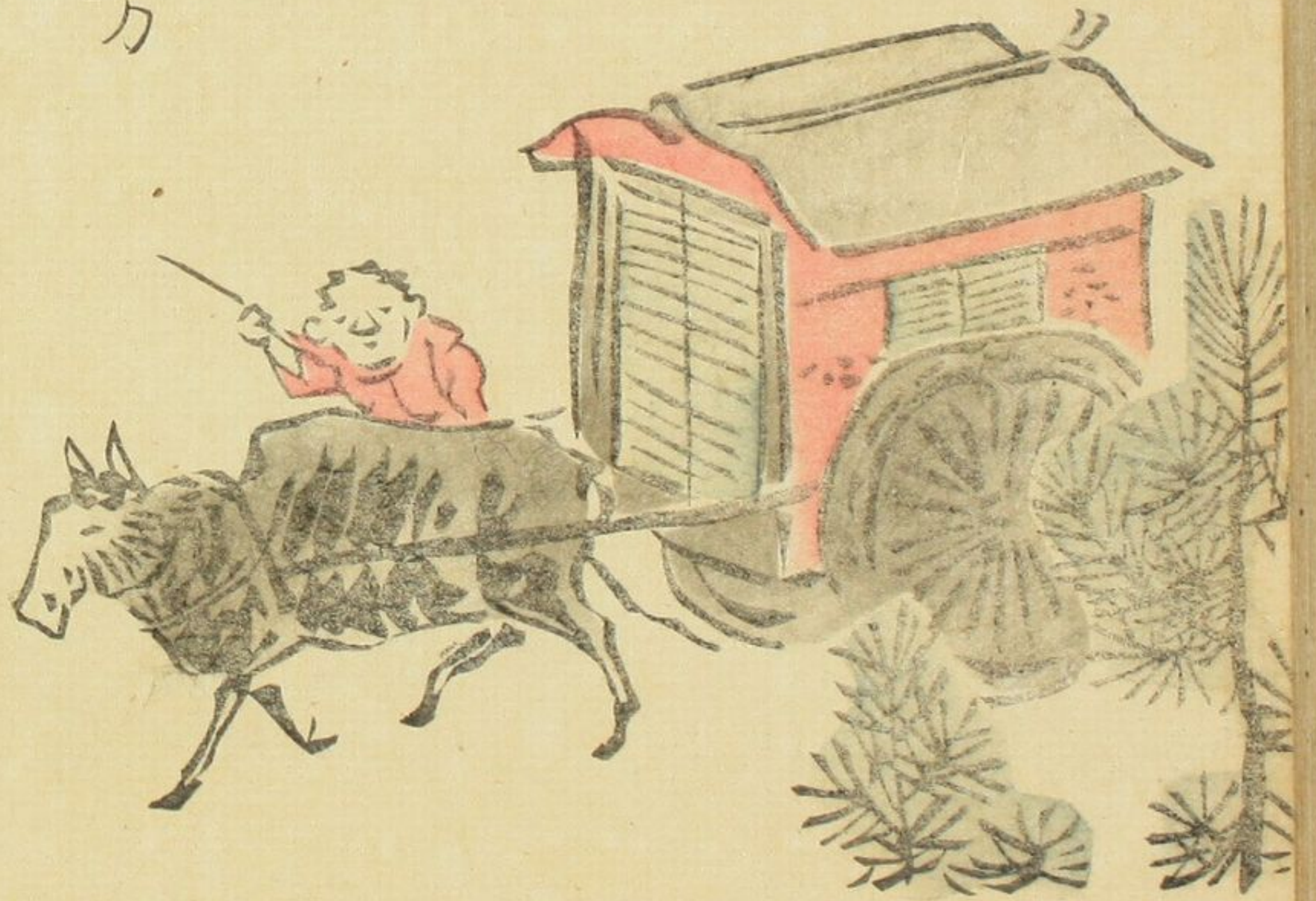
門の

幕目

正

らるる

遠及中泉  
子方



歳且

野許由仙人

昔乃濁く去るくまみ水白く

阿久云ヤ

波静

野和乃飛鳥野

飛鳥山神垣清と神白く南

日乘島

可遊

野伊勢方守武

守武乃白く面ふや神の喜

日所

和合

野乃るる

昔國也 昔乃るるの神の喜

日

百轉

歳旦

歌白樂天

山も帯ももれ枝葉の初氣

阿久ムヤ

有勢

歌水東時政

初爰又さうさう阿木の女月の三子

日大代

月波

歌昔末の宇佐八樓

日四軒家

梅思

先づ初日神の鏡り合せさう

歌遠辰を秀郷

日堂浦

潜龍

破魔弓の世絶たれ世之君うま

歳旦

歌磯伎白多社

蘇鰯や初日乃おとる神の森

芦鶴

歌播磨言何明神

神乃守屋上の松又初うら

巴秋

歌泉忍万代ハ橋

同素嶋

宗慶

あ代乃う色鳥も信しつこの妻

歌安藤云巖島

うくしま鳥を申よ初日ら菊

日

如泥

歳旦 歌牡丹元老人  
阿比梅養 止  
 酒を度々飲 鳥ハ初をよ  
元のまを

歌 ありき

喜興 日

極楽

喜とゆうこ牛の脊

ききし初とら

歌泉石伝抄

淡州如賀 杜業

浪千里初日超く

宮あうま



歌海宮山樹社

たを毛皮御芳う樹よりまらりき李

阿州堂浦

其拍

歌魏州後造社

初逢り梅あすは 穉き心花の喜

日戈田

里城

喜興

万歳の紙之初きりきりきりきり

淡州如賀

春州

梅柳をり井より花ふりきりきり

全



歌常陸麻島雨林

阿久三石

亀孫

齒くくく

ゆくくぬぬ

要る

歌和州首白城雨林



山々ゆきゆき

ちくちく

亀濤

喜興

浪風のあはれさやう喜の月

皇歌

喜謙

くはくはの喜さへ梅の

あつる



歳と 歌藝田社

阿蘇素吟

君う代や ちんちん 櫻田の

とんどのま

とん 齡

その吟

人多きものこととてまよふ  
つら乃性あつらひをま

浪花

溶く島

巴波

よきほどこの

たかひ ちんちん や  
ちんちん

歳旦

紀州

近日亭

羅厚

無きものくちの

福中や福喜

柳

歳暮

昔とて 除夜の火燈乃

とん丁子

喜興

神仙傳の中

宗園

檜林の連ふ

ちんちん 喜の由



歳旦

紀州

銀行堂

里菊

あやうしや

う海 雑煮も 古代の喜

年尾 歌を公呈

あこれと喜

根やほの 柳

喜興

風情も

寫る浪花や

梅月夜



蝶ひくく扇ひくく 葉の花枝

芦花

松花やさうらの葉を寺の楳

黄菖菴

雪乃事ぬきとあふ小あま

七松堂

雪乃清流乃あ志つうく

土朗

うはむけし船のトも七喜の料

文香舎

改平の元あれうと思ひく

五彩堂

旅人を所なうと梅乃花

花柳舎

喜折乃骨よさうとあし

二高堂

雪のあうと喜やあうと新鳥

石田江

喜れやさうあまこさうと

本乃本

つる房

柳月面をさねの物う南江戸雲中菴  
 島ちく城を歸る雨の柳う南系斗雲  
 あれもうしきとぬれささるまの山  
 君う代や信もたさりよさる柳  
 有あさくお免うまさる梅の毛  
 喜風や城後まいさく小商人仙基危志  
 舟推る地よ風うさるまの危遠路の明  
 船ま啼や折のハるま山龍日事南北小眞  
 草うろさるまや口乃烟う酒吹江戸成美  
 うらうけぬまのんやよせ路るま成津雪菴  
 草う月よ對して梅乃白さるま成喜議

喜興

伊丹

老橋井

紫金

麻さの宮

よそよそやあはる

世新うま

喜興

梅うまの

よみ

来る真如

空

喜蟻

殊月を名はるるの

喜

嬌韻

閑に喜を可ふる

旅集

一燈菴

